

東郷池における住民意識を取り入れた新たな環境指標の検討

鳥取県衛生環境研究所

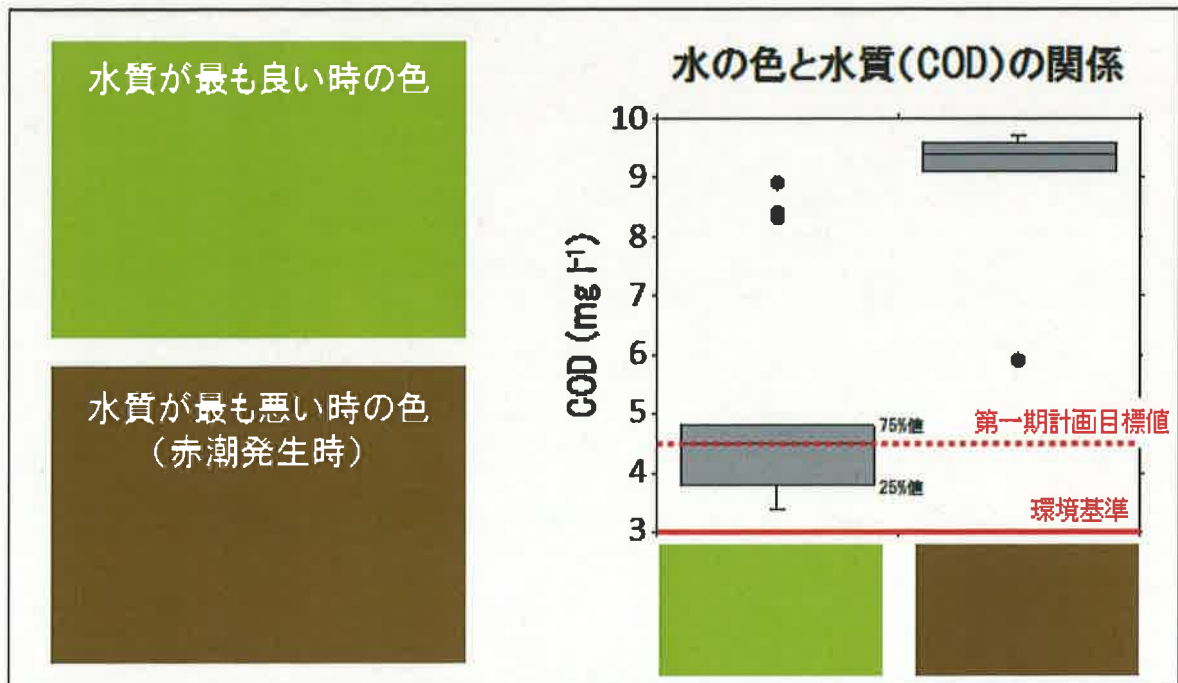
従来の水質環境基準項目だけでは東郷池の水環境の姿が住民にわかりづらいことから、住民の感覚を反映させた指標を作り、従来の基準と組み合わせることのできるわかりやすくし、施策の方向性の設定や住民意識の向上に活用する。

背景

- ◆環境省は国民に分かりやすい基準（透明度・溶存酸素量）を設定中。
- ◆国土交通省でも住民感覚を考慮した水質管理指標を検討中。
- ◆「東郷池の環境基準(COD) 3.0mg l^{-1} 」は住民にわかりづらい。
- ◆当所では、環境基準と組み合わせることのできるわかりやすく水環境の姿を示すことのできる指標作りを検討した。

平成26年度事業内容

- ◆簡易指標としてふさわしい「水の色」を水質と住民感覚の両面から検討。



わかったこと

- ① 水の色は多くの水質項目と同調的に変化し、水質が良い時は黄緑色になる。
(黄緑色の時のCODの中央値 = 4.5mg l^{-1} ← 第一期計画目標値)
- ② 聞き取り調査で東郷池に望ましい水の色として最も多く選ばれたのも黄緑色であった。(全回答の約40%の支持)
- ③ 東郷池本来の水の色も黄緑色である(101年前の調査結果)。

- ◆以上より「黄緑色」は簡易目標としてふさわしいと考えられる。